

平成 26 年 10 月 14 日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 静岡県立韮山高等学校 萩原季弘 \_\_\_\_\_
2. 講師氏名: CARLTON.B.D 博士 \_\_\_\_\_
3. 同行者氏名: 山中 龍 氏 \_\_\_\_\_
4. 実施日時: 平成 26 年 10 月 14 日 (金) 13:00~14:30 \_\_\_\_\_
5. 参加生徒: 2 年生 40 人、 年 生 人、 年 生 人 (合計 40 人)  
備考: (例: 理数科の生徒) 全員理数科 \_\_\_\_\_
6. 講演題目: (英文) Geotechnical Earthquake Engineering: Site Response Analysis \_\_\_\_\_  
(和文) 地盤工学的地震工学: 地盤の揺れの解析 \_\_\_\_\_
7. 講演概要: 講師の出身大学、アメリカの話、現任校(東京工業大学)の話  
地震の基本的な話、地盤の揺れとそこに建てる建築物の構造について。
8. 使用言語: 英語 \_\_\_\_\_
9. 講演形式:
  - (1) 講演時間 60 分 質疑応答時間 20 分
  - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講演 \_\_\_\_\_
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
講師の話の途切れたタイミングで内容を補う程度の説明をしていただいた。 \_\_\_\_\_
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
英語の授業で用語の取り扱い。関連知識の事前学習プリント配布。 \_\_\_\_\_
10. 学校からの支給経費(該当がある場合):  交通費  宿泊費  謝金
11. その他特筆すべき事項: ひじょうにわかりやすい講義で生徒にも好評だった。  
通訳も、通訳しすぎず、適度な補助をしていただいた。